

中津市民病院化学療法プロトコール

【レジメンNo】H-35

申請日	承認日	委員長	印
レジメン登録日 (見直し 2020/3/16)	仮承認日	承認者	印

DRd(DLd)(1~2コース目)療法	病名	多発性骨髄腫	血液内科	医師名
対象 前治療歴を有する再発又は難治性の多発性骨髄腫				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)													
			1	5	10	15	20	25	30							
ダラザレックス(ダラツムマブ)	16mg/kg	div	○			○			○			○				
レブラミド(レナリドミド)	15~25mg/Body	p.o	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デキサート注(デキサメタゾン)	20mg/Body	div	○			○			○			○				
デカドロン錠(デキサメタゾン)	20mg/Body	p.o	○			○			○			○				

投与間隔・休薬期間等: 28日=1コース
 2コースまで
 ダラザレックスは週1回投与、レブラミドは21日間連続投与、7日間休薬を1コースとする。
 デキサメタゾンは、週に40mg/body投与。

← 1コース →

【投与処方例(前投薬など)】※0.22ミクロン以下のインラインフィルターを使用

初回

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液50mL+デキサート注20mg /div 15分
- ③ メイン【赤-2】アセリオ注1000mg /div 15分
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液100mL /div 30分
- ⑤ メイン【赤-4】生理食塩液1000mL+ダラザレックス /div (※)

2回目以降(初回投与開始～3時間以内にインフュージョンリアクションがなかった場合)

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液50mL+デキサート注20mg /div 15分
- ③ メイン【赤-2】アセリオ注1000mg /div 15分(650mgまで減量可)
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液100mL /div 30分
- ⑤ メイン【赤-4】生理食塩液500mL+ダラザレックス /div (※)

※ダラザレックスの速度

初回	生理食塩液1000mLに溶解し、最初の1時間(50mL/hr)1～2時間(100mL/hr)2～3時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能
2回目	初回投与開始から3時間以内にインフュージョンリアクションがなかった場合、生理食塩液500mLに溶解し、最初の1時間(50mL/hr)1～2時間(100mL/hr)2～3時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能
3回目以降	初回及び2回目投与時に最終速度が100mL/hr以上でインフュージョンリアクションが認められなかった場合、最初の1時間(100mL/hr)1～2時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能

前投薬(ダラザレックス投与前日) モンテルカスト錠(10)1錠1×夕食後	
前投薬(ダラザレックス投与日)	
day1.8.15.22	レスタミンコーワ錠(10)4錠1×ダラザレックス投与1時間前
day1.8.15.22	モンテルカスト錠(10)1錠1×ダラザレックス投与1時間前
内服(ダラザレックス投与翌日)	
day2.9.16.23	デカドロン錠(4)5錠1×朝食後